

越教組ニュース

越谷市教職員組合



十一月二六日(水)、越教組は市教委に来年度の教育予算に対する要望を行いました。今年度は、全教職員に配付した予算要望アンケートから要望項目にカーテンの更新を加えたり、組合からの発言でアンケートに記述された職員室の狭さや宿泊行事への補助などを取り上げたことが特徴です。アンケートに参加していただいた先生方に感謝申し上げます。以下、組合が重点とした項目を中心に、報告をします。

代員の確実な配置を

(組合) 病休・産育休などの代員が来ない。市教委は「あつてはならぬこと」というが、予算で先生の配置以上に優先されるものがあるのか。

(市教委) 優先順位は、子どもたちのためが一番。そして先生方が笑顔で働けることを大事にしている。代員の確保も全力で行っている。

(組合) 現場は教育活動に支障が生じないように必死に努力しているが、限界である。緊急時、指導主事を学校に派遣するということができないか。

(市教委) 授業することは法律上できないが、管理職が欠けて学校運営が回らない場合には、指導主事の派遣を可能な範囲でやっていきたい。ただ教育委員会本来の仕事もあるので、要請があれば派遣するとは言えない。

SSRに人的保障を

(組合) 小学校のSSR(スクールサポートルーム)は、現在10校に設置されているが、運営の主体は週一回来る学校相談員ということになっている。他の教員もカバリーに入っているがやりきれない。職員室に人がいない状況やそもそもSSRに教員が行けない場合もある。週5日、人の配置を保障する制度にしてほしい。

(市教委) 学校相談員の勤務日数については、財政担当部局に対してその趣旨を伝え、拡充に向けて努めていきたい。

法に基づいた労働安全の整備を

(組合) 産業医が学校に来て、5分くらいで帰っている実態がある。

(市教委) 時間の長短ではなく、教職員の悩みに寄り添って相談に乗ったり、環境を見てアドバイスをしたりする。管理職に対して、工夫してそういう時間を設けるようにと話をしている。

(組合) 50人以上の職場の衛生管理者は、養護教諭の充て職のようになっていないのではないか。

(市教委) 現在、体育教員になっている学校も複数ある。養護教諭に押し付けるといことはよくない。

(組合) 教職員向けのメンタルヘルスカウンセラーの配置を求める。文科省も配置を言っているし、先行の川口市では大きな効果を上げている。

(市教委) 現在のところ配置は考えていない。引き続き調査研究に努める。

遮熱対策の改善を

(組合) 特別教室にエアコンの設置を。エアコンが設置された教室でも35度から下にならないという所もある。命にも関わる問題だ。

(市教委) 特別教室へのエアコン設置は、導入に向けて検討している。設置までには、もう少し時間がかかる。エアコンの効きが悪い原因が熱交換器の目詰まりの場合には洗浄で回復を図っている。教職員から要望があれば迅速に対応する。

職員トイレにウォシュレットを

(市教委) トイレの洋式化については、少しずつ改善する方向で考えている。また、ウォシュレットについては、市の公共施設全体の中で考えていきたい。

校務支援システムの改善を

(組合) 学校日誌の行事や出張は他のデータとの連携はできないのか、そもそもセキュリティが厳しすぎて効果的な活用ができない。

(市教委) 校務支援システムについては、令和10年度の改定を目指し、この夏にアンケートを実施した。教育センターだけでなく教育委員会、事業者とも意見交換しながら進めている。セキュリティ対策は、万一の場合を考え理解を求めたい。

部活の地域移行アンケート

(組合) 令和5年度に行われた地域移行に関するアンケートの結果が知らされていないという声が出ている。

(市教委) 令和7年3月に越谷市地域クラブ活動推進計画を策定。アンケート結果も含めてホームページで公開している。

宿泊行事に補助を

(組合) バス代が値上がりし、宿泊行事を縮小・廃止している。家庭ではできない体験をさせることは大きな教育的意義がある。ぜひ公費での補助をお願いしたい。

(市教委) 私費負担については、直接利益を受ける方が費用を負担する受益者負担の原則を基本としており、行政の公平性の観点から、現時点では困難である。

カーテンの更新を

(組合) カーテンの更新は布だけでなくレールの交換が必要な場合もあり、学校配分予算では年に2〜3教室しかできない。カーテンの更新は遮熱対策として子どもの健康に関わることでほしい。

(市教委) カーテンの管理については、どんな方法がいいのか、担当や各学校にも聞いて考えさせたい。

市教委回答

SSRは人的配置の拡充に努める 特別教室へのエアコンは導入に向け検討中